ふたなりゆきちゃんの
姉と恋人
R-18
ふたなり

Hotel St.Croix

2023 Summer

たとえ普段、
ろくでもない日々を
送っていたとしても―
たった一人の
理解者がいれば
案外人は救われるものだ

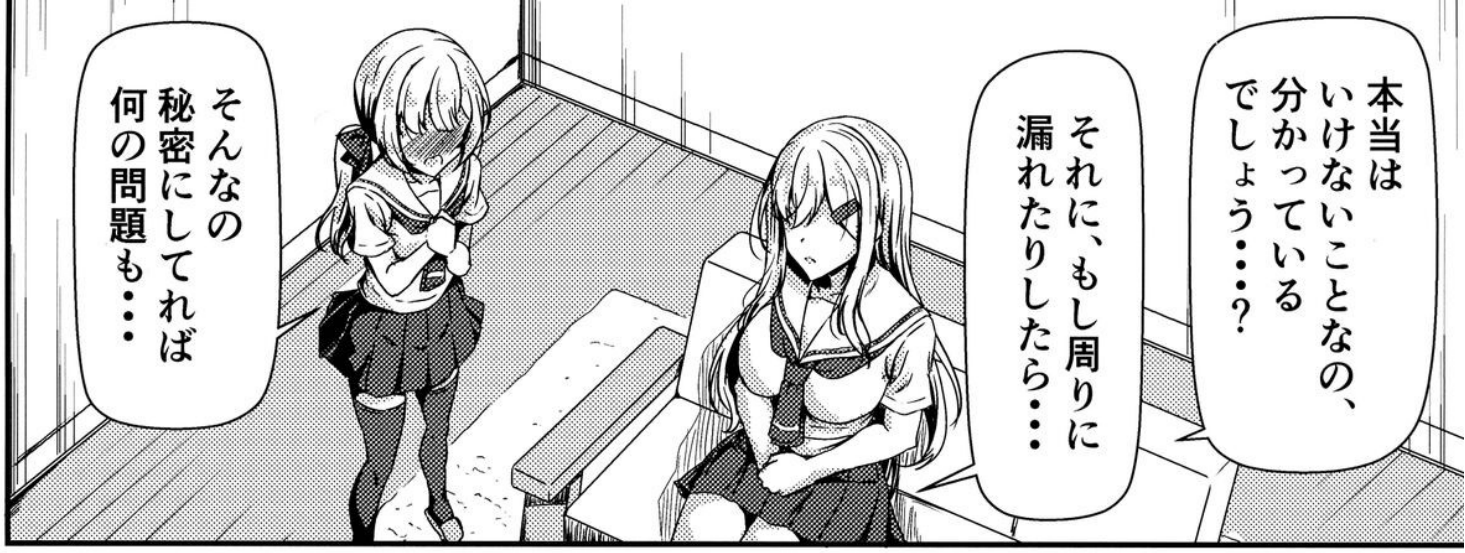
文武両道、人望があって、
とても美人のふたなりさんで・・・
わたしを優しく
愛してくれる

その人は誰であってもいいし、
その関係性も問われない
世間には認められない
ようなものでも、構わない
お姉ちゃん
早くおちんぽ
欲しい・・・❤
もう我慢できない
よぉ・・・❤

それが
わたしの大好きな
はるな
お姉ちゃん❤

いつしかうしろめたい関係になってしまった
ん…♥
ちゅ…♥
私たちふたなり姉妹が
あっ♥
ぱんっ♥ぱんっ♥
それでも一応の一線を越えないために決めたのが…
本番はしない、ということ
あっ♥あっ♥あぁっ♥
すきっ♥
お姉ちゃんの生ちんぽ好きぃっ♥♥
あっ♥
ぐぐっ♥
あぁっ♥
ビクッ
びゅるっ♥
びゅくっ♥
びゅっ♥
ガクガク
ガクガク
あぁぁっ♥
少し物足りないところはあるけれど
これは、わたしの日々を支える、重要な燃料補給なのだ

おっはよう
お姉ちゃん♪
今週末は何も
なかったんだよね？
ガチャ
今日は一緒に
帰って
二人でゆっくり
できるね❤
ドキッ
…
ゆきはこの間の
中間テスト
かなり良かった
みたいね
それは、お姉ちゃんが
色々教えてくれたから…
本当にすごいのは
お姉ちゃんの方で…
いえ、あなたは本当に
よくやってると思う…
私にだって良くない
ところもあって…
あなたみたいに
努力しないといけないの
だからゆき…
そういうのはもう…
終わりにしましょう
え…


本当は
いけないことなの、
分かっている
でしょう・・・？
それに、もし周りに
漏れたりしたら・・・
そんなの
秘密にしてれば
何の問題も・・・

じわ・・・
突然でなんだかよく
わからないんだけど・・・
お姉ちゃんまでわたしのこと
嫌いになったの・・・

それでも・・・他に恋人なり
友達なり作るべきなのよ・・・
その方があなたの
ためにもなる

わかった、その言葉
忘れないでよ・・・！
わたしだって
本気出せばそれくらい
できるんだから！

何を言って
いるのよ・・・
そんなに私と
したいのなら
本当にそうなれば
自然とわたしのことも
忘れちゃうでしょうから・・・
あなたがちゃんと
恋人作ってきたら
また考えてあげる

しかし、そう啖呵をきっても
ロクに友達もいない私には

あの子また一人で帰ってるw

劣化はるな先輩だからコミュ力も死んでるんでしょw

態度がクソなのに顔がいいのほんとクソ

肉オナホにしてやりたいんだけどw

お姉ちゃんの
要求ハードルは高い

なので、途方に
暮れていたのだが・・・
恋人のふり程度で
いいなら

頼めそうな
心当たりがない
わけではなかった

あー、こんな
ところにいた！

ね、ゆっきー♪

ふたなり仲間同士
今日こそ一緒にかえ・・・

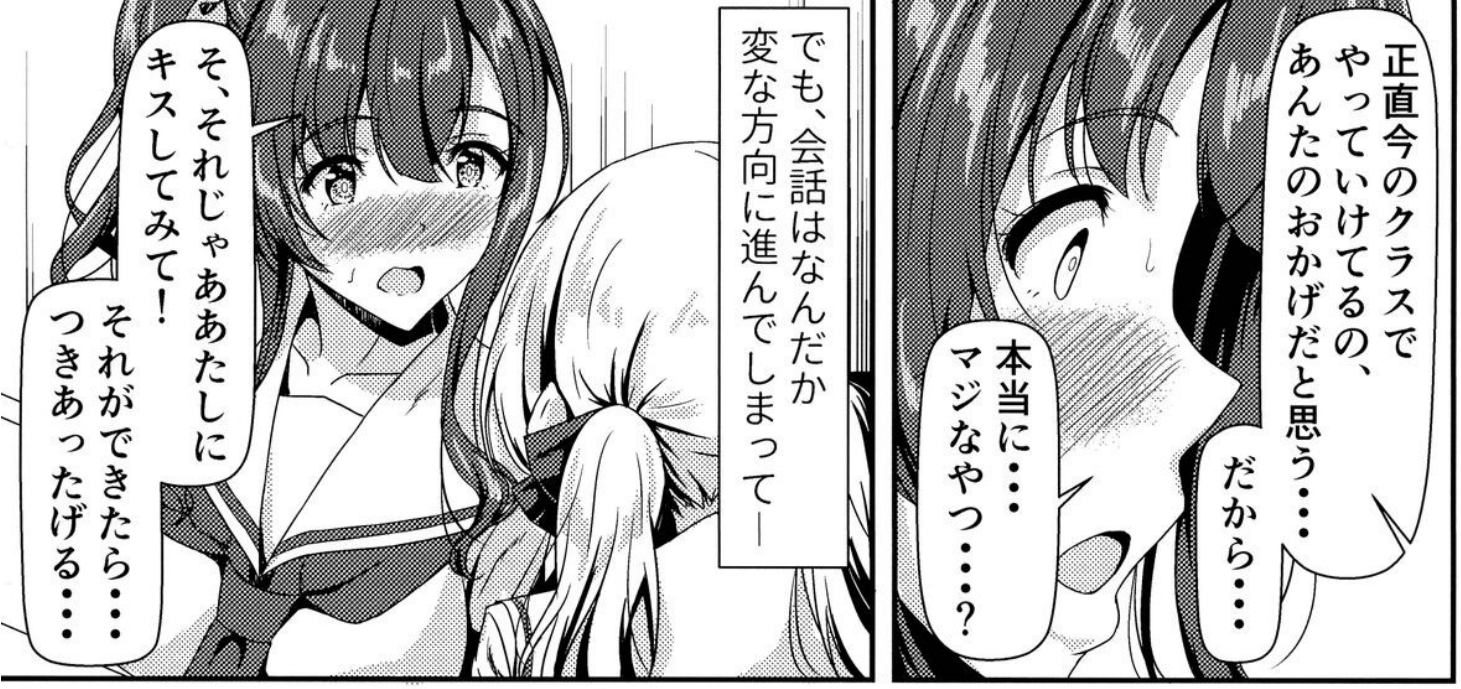
何？どしたの？

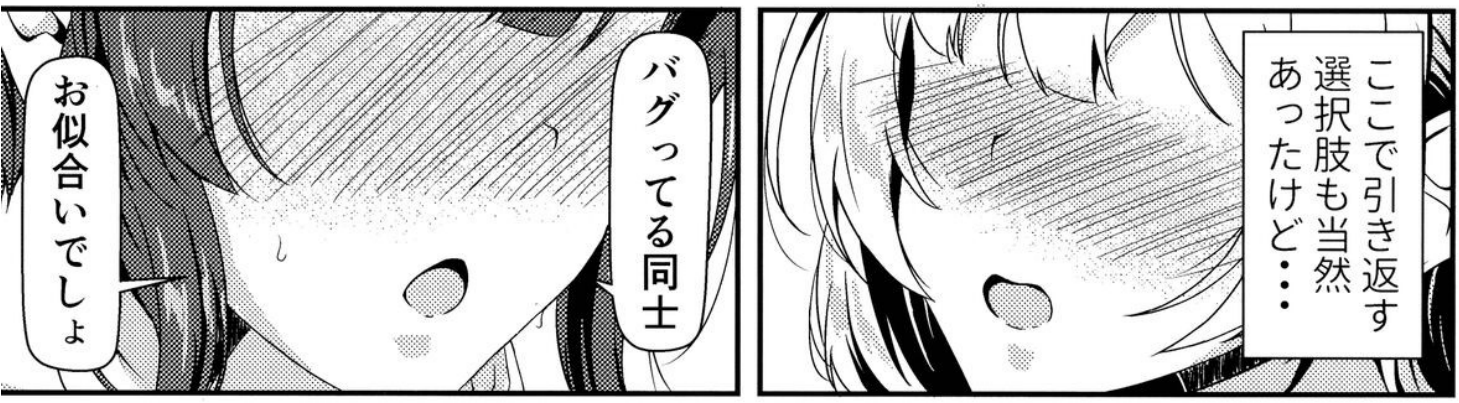
高峰ちあき・・・
いつもいつも
あんたさ・・・

熱心なクラス委員長が
ぼっちのお世話してる
だけなんじゃなかったの？

距離感バグって
ない？これ

バグってない
近い・・・
でも、ふりでお姉ちゃんを納得させるのは難しい
だから、そのときのわたしは投げやり気味で・・・適当に言ってみただけの、つもりだった
その優しい博愛主義者さんに
ちょっと頼みがあるんだけど
？
ブフッ・・・!!
わたしをあんたの彼女にしてくれない？
ちょ・・・いきなりなに・・・！
距離感バグってんのゆっきーの方じゃん！
あんたってそうウザそうな感じなのにすごく気遣い上手で皆から信頼されててさ・・・
ドキッ♥
ドキッ♥
わたしなんか放っておけばいいのにまぁ律儀にフォローしてて


正直今のクラスでやっていけてるの、あんたのおかげだと思う…
だから…
本当に…マジなやつ…？
でも、会話はなんだか変な方向に進んでしまって―
そ、それじゃああたしにキスしてみて！
それができたら…つきあったげる…


ここで引き返す選択肢も当然あったけど…
バグってる同士お似合いでしょ

…どう？
はぁっ♡
はぁっ♡
…よくわかんないもう一回…

そして、こういうことができる程度にはちあきのことが嫌いじゃなかったんだと、今更気づいた
これはわたしに訪れた最初で最後のチャンスだと思った
ん…♡
くちゅ…♡
ちゅる…♡
んむ…♡

これ以上は…ここだと恥ずかしい
なら、うち来なよ…すぐそこだし

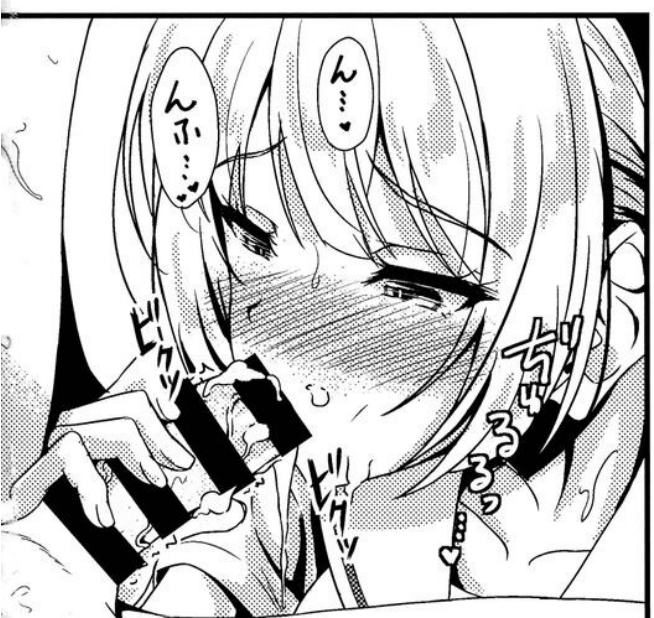
いざこうなってしまうと、
やっぱりお姉ちゃんの
顔が浮かぶけど
そもそも恋人を作れって
言ったのはお姉ちゃんだ
それに、ちあきと関係を
持ってもわたしの本命は
変わったりしない
しかも、帰り道に
手をつないだだけで
勃起しちゃうちあきが
なんだかおかしくて
こうすぐに
がっつかれても…
首筋は…あと
付けないようにしてね
なんだか逆に余裕が
あるくらいだった
ごめんゆっきー…
あたしいきなりで、
全然抑えられなくて…
まるでドーテー
だよね…
大丈夫…ちあきにこうやって
されるの、別に嫌じゃないし…
それとも、次は
わたしがしてあげようか

あぁ…もう…
はっ♥
はっ♥
あっ♥
あっ♥
ゆっきー絶対初めてだと思ってたのに…♥
しゅっ♥
しゅっ♥
ゆっ♥
しゅっ♥
ガクガク
ガクガク
それはなんか失礼な気がするけど…
れろぉ…♥
あぅっ♥
ビクッ
あむ…♥
にゅぷぷっ♥
んぅ～～っ♥

ん…ああぁぁ…♥
ちっちゃいゆっきーがこんなにフェラ上手なんて…
やば…なんかいけない性癖が目覚めそう…♥
ビクッ
ビクッ
あっ♥あっ♥あっ♥あっ♥
にゅっ♥
にゅるっ♥
ぬるっ♥
にゅるんっ♥
にゅぷっ♥
ぬぷっ♥
ちゅぷっ♥
ちゅぷっ♥
なにあんた…ロリっぽいのが好きなの…？
ちゅーっ♥
ちゅぱっ♥
ちゅるっ♥
変態…♥
ち、ちが…♥
そうじゃなっ…♥
れろっ♥

なにが違うのよ・・・
こんなにちんぽ・・・
ガチガチにしてっ♥

うむっ・・・
ん・・・♥
ごくっ♥
ごくん♥


ん♥
んふ・・・♥

んぁぁぁっ♥
ダメダメ
出るっ・・・♥
ゆっきーの口に
出しちゃうぅ♥♥

ぷふぅ…はぁ…
全然萎えないわね
ちあきの…
ビクンッ
はーっ♥
はーっ
だって…ゆっきーがエロすぎてさ…
正直…早く入れたくてしょうがない…
あー
うん…
お、お尻なら…
いいよ…
え…？
ほら、わたし
体小さいし？
おまんこも小さいから
いきなりは無理で…
でも実は結構変態で
アナルは慣れてるからっ！
そ…そう…
じゃあそっちで…
おまんこの初めては、
いつかお姉ちゃんに
あげたいし…
くぱぁ♥
ひくっひくっ
ほらね、入れても
大丈夫だから…♥
ゆっきーとの初めてが
アナルとかやば…♥
びくっ
びくっ
びくっ
ビクッ♥
あたしの性癖
マジで壊れるぅ♥

ん…ああ…すご…
あたしの結構
大きいのに…
全部入っちゃう…♥
あっ♥
あぁっ♥
ぷっ
ぷっ
ぷっ

あっ♥
あっ♥
あぁぁ…しかもなんで
こんなにトロトロなの…♥
これ絶対ゆっきーの方が
変態のやつじゃん…♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥

う、うるわいわね…
はっ♥
はっ♥
はっ♥
あんだだって…

性欲丸出しで
がっついてる
くせに…♥
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

こんなに気持ちいいなら
あたし頭ちんぽでもいいしっ♥
あぁ…ごめん…
ゆっきぃ…♥
もうイく…♥
ぞくぞくっ♥
ぉちゅっ♥
ぉちゅっ♥
ぉちゅっ♥
ぉちゅっ♥

ゆっきー好きっ好きぃっ…♥
あー出る出る出ちゃ…♥
ビクッビクン
んっ♥
ズポッ
ズポッ
イっくぅ…♥
んうぅっ♥
びゅくっ♥
びゅるっ♥
ね、ゆっきー…♥
このままもう一回…いい？
ブピュッ♥
ビュルルッ♥
はっ♥
はっ♥
はっ♥
もう…
しょうがないわね…♥
あっ♥あってるっ♥
またでるぅ♥
ってあんたいったい…
ズポッ
ビュッ
何回出すのよぉ…っ
あっ…
ズポッ
こしとまんなっ…♥
あうっ♥
これで本当に最後っ…♥
だからゆっきーも一緒に…♥
あっ♥
ずちゅっ♥
ずちゅっ♥
あっ♥
ずっ♥
ずっ♥

あたしの金玉の中身
全部ゆっきーのアナルに
注いじゃうからぁ…❤❤
ああっ❤
あああぁっ❤❤
ビュクッ
ビュルッ
ビクッ
ビクッ
ゴプッ
ドプッ
ふぁぁ…❤
最後の一滴まで
絞り出てるぅ…
ブピッ
ブピッ
ブポッ
もう…
むりぃ…❤
ゴポォ…
ぬぽっ
フェラ込み5連発は
張り切り過ぎでしょ…
おしり
どぽどぽ…
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ゆっきーが…
エロすぎるのが…
わるぃ…❤
それにしても、
ちあきがこんなに
わたしに夢中とは…
はーっ
はーっ
はーっ
おかげで簡単に恋人は
できてしまったけど
これでわたしは
お姉ちゃんとの
関係のために
ちあきの気持ちを
利用したことに
なるんだよね…
こうしてヤらせて
あげるだけじゃ許して
もらえないかもだけど
はふぅ…
まんぞくぅ❤
むにゃ…
もう、このまま
いくしかないんだ

その後、わたしに恋人が
できたことを聞いたお姉ちゃんは

一見いつも通り
ではあったけど

かすかに動揺と
嫉妬がにじんでいた

でも、何かと理由をつけて
わたしとするのを渋った

正直理不尽だとは思ったけど、
わたしのことは多分嫌ってない・・・
でも愛し合うのは嫌・・・

それってもしかして、
妹に欲情する自分が
今更嫌になったの・・・？

なにそれ・・・
可愛いものじゃないか
それくらい・・・

お姉ちゃんにはそれを補って
あまりある才能や容姿が
あるのだから

お姉ちゃんみたいな
優秀な人の悩みは、
わたしにはよくわからない・・・

それでもその夜

こんなこと・・・♥
しちゃダメなのに・・・♥

・・・！

ゆきっ♥
ゆきぃ・・・♥

あっ♥
んっ♥

んっ♥

びくんっ♥

お姉ちゃんの理性は
鉄壁ではないと
わかって少し安心した

はっ♥
はっ♥
はっ♥

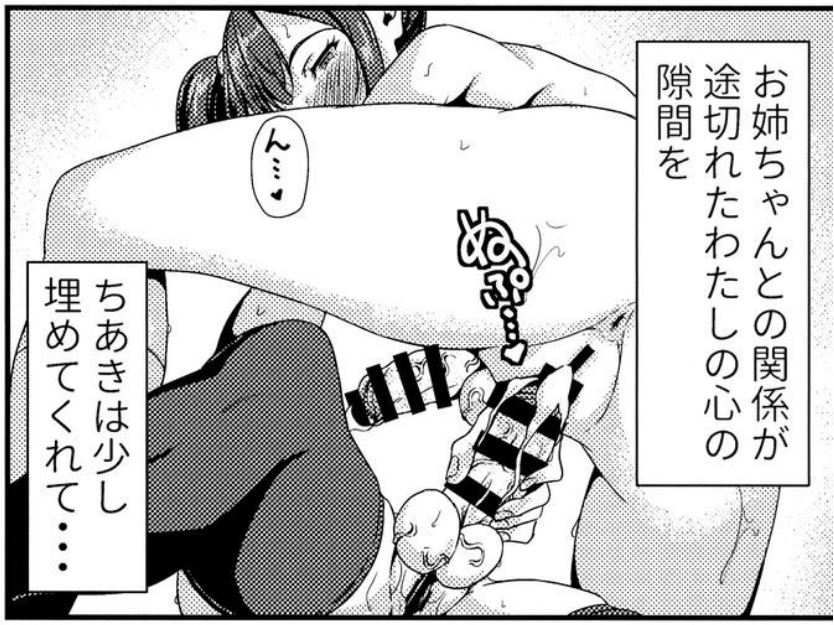
なんでおさまらないのぉ・・・

んうぅ・・・♥
イっくぅ・・・♥

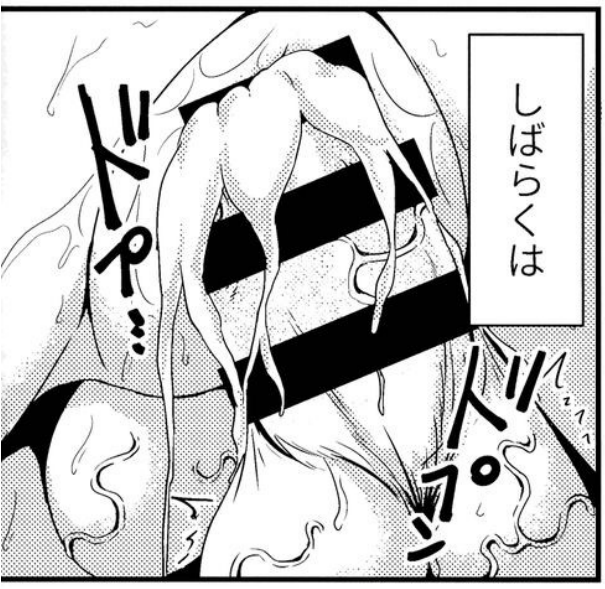
しこしこ♥

今度ちあきを連れてきて
もっと揺さぶって
やればいいんだ♥

そうはいったものの
わたしとちあきとの体の相性は思いのほか良くて
それに、浮かれているちあきに
実はお前を利用しているなんていうのはためらわれて…
んっ
んっ
あっ
はっ
ヌチュッ
ヌチュッ
ヌチュッ


お姉ちゃんとの関係が途切れたわたしの心の隙間を
ちあきは少し埋めてくれて…
ん…
ぬぷっ

ゆきのおちんぽも気持ちよすぎぃ…❤
めっちゃ出てるぅ…❤
あっ…あぁぁぁ…❤
んっ
トクッ
トクッ
はぁっ
あっ
びゅるっ
ぴゅっ


しばらくは
ドピュッ

この関係が続いた
はぁっ
はぁっ

うん・・わたしも
ちあきの膣内
はっ♥
はっ♥
はっ♥
きもち・・いい・・・❤
ぐんぐんぐんぐん
・・そういえばあたしの方は
ゆっきーのアナルにしか
入れたことよね
にゅぽっ
そう・・だっけ？
・・ね、ゆっきーさ、
あたしの他に好きな娘
いたりしない？
たとえば
ゆっきーの・・・
お姉さん、とか
ふふ・正直気づかないふり
してたのもあったけど・・・
ゆっきーって普段、
自分がどういう顔してるか
知らないよね？
・・何よそれ
ゆっきーはいつも周りは全部敵って
感じで、言葉使いがたまに乱暴で・・・
でも本当は結構努力家の
すごい娘だったりして
割と最近からかな、
私と絡むときだけ少し・・・
表情が緩むようになったの

それでね
三年生のすごくきれいな、ゆっきーと似た感じの先輩と一緒にいるときだけ
満面の笑顔になる

ゆっきー
もう一度聞くけど
本当にわたしのこと好き?

…なるほどね
それでお姉さんとのヨリを戻すのに私が使われたと
本当にごめん…
でも、案外冷静なのね…
まぁね…

うん…いいよ
あたしゆっきーに協力する
お姉さんに紹介してよ
はぁ…?いいのあんたそれで

そのかわり
ゆっきーのここが欲しいかな❤
くちゅ

あたしの脳みそはもうゆっきーに焼かれちゃったみたいだから・・・❤
それに今のゆっきーを見てるとさ・・・
まだワンチャンある気がするんだよね❤
だから、今はお姉さんのために私を使えばいいよ

あたしのことはこれからじっくり

なるほど、協力してもらう代わりにわたしの処女をあげるってことか・・・
それに、お姉ちゃんとの関係を人質に私を縛り付けておくのもあるかも・・・

好きになってもらえればいい❤

ちあきの気持ちを利用する代償としては、ちょうどいいのかもね・・・
ゆっきーはおまんこ、初めてだよね？
そう・・・だけど・・・ちゃんと入るようにいじってはいる・・・
はっ♥
はっ♥
ドキドキ
ドキドキ
びくっ
びくっ
びくんっ♥
お姉ちゃんのために？
でも、あたしが初めて・・・貰っちゃうから・・・♥
ぞくぞくっ
ふーっ♥
ふーっ♥
ゆっきー・・・♥大好きだよ・・・♥♥
ん・・・うぅ・・・♥
ああ・・・ゆっきーの処女まんこ・・・♥
アナルよりキツくて最高ぉぉ・・・♥♥
あっ♥
はっ♥
パンッ
パンッ
パンッ
でも・・・ゆっきーのおまんこだと・・・♥あたしのおちんぽざこになっちゃうみたいぃ・・・♥
もう精子がのぼってきちゃってる・・・♥♥
あっ♥
んっ♥
あっ♥
パチュ
パチュ
パチュ
ふっ♥
んっ♥
ふっ♥

ゆっきーの初めてまんこ♥
あっ…あああ…♥
ゆっきーのなか気持ち良すぎて止まんないぃ♥
あたしの精液で一杯にしてあげるっ♥♥
ああああっ…♥♥

出した分はちゃんと協力してもらうわよ…！
んーわかってるぅ…♥

続けて二発目…いくからねっ…♥
ちょ…もう…

なるほど・・・

あなたがゆきと同じクラスの高峰ちあきさん・・・

付き合って間もないのに、随分仲がいいのね・・・

ぴとっ

えぇ、元々わたしの方から結構話しかけたりしてましたから❤

にぎにぎ

うふ・・・やっぱり実際にちあきに会うと

お姉ちゃんの動揺も大きくなるみたい・・・

もっと畳み掛けたら・・・どうなっちゃうのかな・・・❤

でもね

お姉ちゃんわたしに恋人出来たって言っても全然聞いてくれなくて・・・

ちゅ・・・❤

ちゅ・・・❤

だから、二人ちゃんと付き合ってるって見せてあげなきゃって・・・ね❤

なっ・・・！

ビクッ

！

もうゆっきーこんな人前で…
逆に…盛り上がっちゃうじゃん…❤❤
はっ♥
はっ♥

うふ…ちあきって見られるのが好きなの…？
変態❤
えぇ…
ゆっきーも十分おちんぽガチガチなんだけど❤

ね、今日は先にゆっきーが入れて…
わたしがゆっきーの恋人になったってこと、お姉さんに見せてあげて❤
はっ♥
はっ♥

お姉ちゃん…❤
わたしがちあきと恋人セックスするところ…ちゃんと見ててね❤
はっ♥
はっ♥
ふーっ♥
ふーっ♥

ぬぷっ♥
ぷぷっ♥
あっ…ゆっきーのおちんぽ入ってくるぅ…❤❤

あっ…
あぁぁ…
ゆきがおまんこに
入れてるぅ…♥
ほんとは
わたしも…
わたしも
したかったのにぃ♥

お姉ちゃん
やば…♥
今ここでオナニー
しちゃうなんて…
興奮しすぎ
だよぉ…♥

ほらゆっきー、もっと
繋がってるとこ
よく見せて
あげなきゃ♥

わたしの
えっちなとこ…
お姉ちゃんの
オカズにされて…♥
やば…すっごく
興奮するぅ♥♥

ゆきっゆきっ♥
ゆきぃっ…♥♥
あああぁ…♥
あああぁぁっ…♥♥

あは・・・❤

とろぉ・・・

お姉ちゃんの熱くてどろどろぉ❤

ブビュッ

ビュルルッ

あぁ・・・やっぱりだめだった・・・

ゆきに恋人ができたら本当にやめられる思ってたのに・・・

そんな寂しいこと言わないでよ・・・

わたしに欲情するえっちなお姉ちゃん・・・全然嫌じゃないんだよ

でも・・・ゆきとの関係も高峰さんに見られてしまったし・・・

大丈夫ですよ、いつかあたしもはるなさんの妹になるんだから❤

姉妹の秘密は必ず守ります❤

もうおまんこは諦めるからぁ・・・

はっ

はっ

はっ

ちあきと恋人同士なのはもうわかったでしょ・・・❤

せめてアナルには入れてよぉ・・・❤

おまんこはセックスになっちゃうから・・・

あたししかだめですけど・・・❤❤

んうっ

づっ

くちっ

ぐちっ

ズプッ

アナルならまぁ・・・ただの姉妹のスキンシップってことで❤

うぅ…❤
高峰さんが
そういうのなら…❤
ふぅっ
ふぅっ
ふぅっ
約束は約束…
だものね…❤
にゅぷっ❤
んぅ…❤
びくっびくっ
あぁ…すごく
久しぶりの…❤
ぁぁっ
あっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
お姉ちゃんの
ふたなりちんぽぉ…❤❤
ぷぷぷぷっ
なんかゆっきーいつもより
気持ちよさそう…❤
ぶっ
あっ
ぁぁっ
ふぁっ
ちょっと嫉妬かも…❤
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
でもわたしので
おまんこも…
はっ
はっ
はっ
もっと気持ちよく
してあげるからっ❤
…っ❤

でも二本のおちんぽ
比べちゃうぅ…❤

あぁっ…
すご…❤
おちんぽ深いところまで
ガンガンくるぅ…❤
こんなの初めて…❤

アナルの方が
気持ちいいって…
わかっちゃう…❤

あうぅ…ゆっきーの
まんこ締まるぅ…❤
あたし…
もうイきそ…❤❤

私ももう…❤
一緒にゆきをイかせて
あげましょう…❤❤

ぞくぞくっ♥
ぞくぅっ♥
あっイくぅ…♥
二穴差しで…♥♥
ビクッ
ビクッ
おしりとおまんこで
イっちゃうぅぅ…♥♥
ビクン
ビクン
ピッ
ピッ
ピッ

ごめんなさい、今日わたしはここまでにしておくわね・・・
ちあきさん、ゆきのこと・・・よろしく
はい、もちろんです❤
仲直りできて良かったねゆっきー❤
でも・・・これからもあたしとずっと、付き合ってくれるんだよね・・・？
ま、わたしがお姉ちゃんにかまけすぎてあんたをほったらかしたら・・・
凄いことになっちゃいそうだしね
じゃああたしは二人の隠れ蓑になってあげる代わりに・・・
毎日ゆっきーと生まんこね❤
でもはるなさんとはアナルまでよ・・・
今はそこまでは・・・許してあげる❤
ふふ・・・寛容なんだかバグってるんだか・・・
でも、あんたのそういうところ・・・割と好きよ❤

## あとがき

今回はいつも通りふたなり百合ではありますが、
少し趣向を変えて、ちょっと悪い子たちのお話になりました。
それに、メイン級キャラが3人になって複雑化したおかげで
ネームも難航しまして、果たしてうまくまとまったのか
不安なところもあります。
次回はもう少し描きやすい二人のふたなり百合で、
うまく間に合えばふたけっと31に出したいところですので、
引き続きよろしくお願いいたします！

既刊案内(電子書籍)—
「黒髪ロングふたなりちゃんと純愛セックスがしたいっ！」
シリーズPart Ⅲまで

•DLsite

•FANZA

ふたなりゆきちゃんの姉と恋人

著者:サンクロワ
発行:Hotel St.Croix
発行日:2023年8月13日(初版)
twitter:@hotelstcroix
pixivID:46419480
mail:htl.st.croix@gmail.com
印刷:STARBOOKS 様

•Booth